



## 平成21年全国女性建築士連絡協議会 (E分科会)の報告

道央A (小樽支部) 松浦 由希

平成21年全国女性建築士連絡協議会は7月17～18日の二日間、長野市にて開催されました。

初参加でありながらコメンテーターとしての参加。当初は軽く引き受けたもののプログラムをみると他分科会のコメンテーターさん達は何かの活動をしていて、まとめるような立場の人ばかり。

『特に活動してませ〜ん。ただ古い建物が好きなのでです〜。大変、僣越でスママセン!』という気分でした。

分科会は大会2日目に行われました。E分科会のテーマは「歴史的な建物とまちなみ」。

もうひとりのコメンテーターは松代市にお住まいの八田慎蔵さんです。

八田さんは松代藩真田家に仕えた御用商人として栄えた八田家の11代の御当主で、現在お住まいのお宅は江戸後期～明治時代に立てられた現役バリバリの国登録有形文化財(八田家住宅)です。実際、歴史のある建物に住まわれて、生活していく面での苦勞、維持管理の大変さなどについてざっくばらんにお話をしてくださいました。



分科会に参加されている方々の中には、歴史的な建物を保存する活動に参加されている方も多く、実際にそういう建物に住んでいる方の生の声はとても興味深く、とても参考になったようです。

次に私の発表で、小樽市の歴史的建造物の現状や、行政・民間で行われている取り組みについて事例等を紹介しました。

その後の意見交換では、歴史的な建物を保存する活動をしている中での問題点、苦勞話、工夫などいろいろな意見を交わすことができました。

地域の歴史やかつての雰囲気伝えてくれる建物たちを残し、生かしていくには一筋縄ではいかない問題・課題があります。どちらかといううまくいっている話よりも悩みの方が多かったのですが、ここで聞いたお話、意見はお互いの刺激になったのではないかと感じました。



## 初めて参加した全建女～ in 長野

道北（旭川支部） 石川 美和

同じ支部の赤木さんと、飛行機の関係でパネルディスカッションからの参加となりましたが「建築における環（WA）を考える」というタイトルで始まったパネリストの方達の熱心な語りに時間はあっという間に経ちました。印象的だったのは、パネリスト石川利恵氏の興味深い仕事内容でした。

「エコール・ドまつしろ2004」というプロジェクト。長野の観光を善光寺に頼っていたが近代化の波に乗ることなく守られてきた城下町松代市を新たな観光の地としたいというものでした。松代に残る本物の文化財を「茶道」「華道」「能楽」などの伝統的な稽古事を通して「使いながら護る」という思いがここに託されていました。（稽古事は観光で訪れた方たちが体験できるそうです）そしてこれらのプロジェクトは「一人のばかもの」が存在しそれに賛同してくれた人達によって進んでいくと・・・



パネルディスカッションの様子

★場所を移動しての懇親会（メルパルク長野にて）総勢300名以上の方が参加。おいしい食事をしながら他地域の方との交流を楽しみました。

抽選会が始まり・・・ここでなんと私は2等のりんごの木が当たりました～～～写真下の目録を持っている男性の方は1等が当たり、同じテーブルで2人も当選者が！とてもびっくりでしたよ！！



同じテーブルの方達と

最後に・・・初めての参加でしたがとても有意義な時間を頂きました。ありがとうございました。

まだまだ、書き足りませんが翌日の分科会でも各会で盛り上がりを見せ今後の新たな課題やヒントがたくさん出たようです。

## 「親睦ビールパーティー」盛況に終わる！

道東A（釧路支部） 早田多恵子

3連休の初日7月18日、天気予報が大きく外れ午後から小雨のはずが午前から時折バケツの水をひっくり返したような雨の降る中で親睦ビールパーティーは始まりました。青年部が中心となり女性委員会も協力して景品協賛のお願いから販売、届いた景品の包装…と準備した分お客さんが来なかったらと思うと心配で受付をしながら一喜一憂していました。

そんな心配をよそに会場は200人を超えるお客様で熱気に満ちていました。ステージではプロ級と言われるオジサンバンド「3人バンド」がビートルズなど懐かしの名曲で会場に花を添えました。



終盤の抽選会も数々の協賛商品や建築士会の用意したユニークな商品に会場は沸き、特に折りたたみ自転車の時は歓喜と羨望のため息が入り交じり盛り上がりました。会場に来たお客様も満足していただいた様で終了後は二次会へと小雨の中、夜の末広に消えて行きました。



たまには息抜きも必要ですよ？

## 住宅セミナー in 美幌に参加して

道東B (斜里支部) 川勝美由紀

7月4日、東 道尾さんによる「バリアフリーリフォームセミナー」が開催されました。

住み慣れたまち、住み慣れた家で暮らし続けるためには何をすればいいのでしょうか？

高齢者・障害者のための安心リフォームとすることで、興味深いものでした。

人は年を重ねる事で、出来た事が出来なくなる。その時にあった便利グッズを使う事により時間を短縮し、負担を軽減出来ます。

身体が何時、何処でどんな状態になるか分からない今後、情報があるかないかで生活が変わってきます。「住まいは出来ないところは楽に！危ない所は安心・安全に過ごしましょう！」と言う講師の言葉に日々の情報の必要性を感じました。

高齢者・車いす擬似体験では、美幌支部の方々による作成されたスロープや段差を車いすで体験しました。

セミナーを聞いて解りづかった事が、実際の大変さ気持ちを少しでも知る貴重な体験となりました。医療・介護の現場でロボットスーツが利用される所もあるそうで、これからリフォームにも技術を取り入れた物が増えてくると思われます。

その人にあったリフォームにより、行動範囲が広がり、気力が湧き、外に目が行く。そして周りの人たちとふれあいをもって「生きる」事が、住み慣れた環境で暮らすことに繋がっていく！自分たちが出来る事を頑張って、皆の力が集まり温かい家づくりができたらと思いました。



高齢者・車椅子擬似体験の様子

## 女性委員会 報告

委員長 早川 陽子

### ♪ 子どもと建築部会の活動

#### 「住教育セミナー」♪

冊子「子どもをはぐくむ住まいづくり」の発行がきっかけとなって、平成20年から高校の家庭科教諭の方たちを対象とした研修会「住教育セミナー」を担当しています。

近年、高校の家庭科の授業時間は縮小される傾向にあり、特に「住」への取り組みが減ってきているという背景の中で、研修プログラムとして取り上げられました。

テーマは「くらしの主役を育てる住教育」。

セミナー、建築士と共に考える実習、授業に応用出来る教材の工夫、の3部構成となっています。

7名のチームで7月29日へ向けて準備中です。



今年も楽しいアイデアがいっぱいです

### H21 女性建築士の集いのご案内

#### ♪・・・おたる・歴建・さんぽ・・・♪

♪講師 駒木 定正 氏

北海道職業能力開発大学校 建築学科助教授

♪とき 10月5日(日) 午前10時

小樽市役所駐車場に集合

♪申し込み先 北海道建築士会・事務局(浦上)

電話：011-251-6076 Fax：011-222-0924

メール：urakami@h-ab.com

①参加者氏名 ②昼食の有・無 ③連絡先 ④車の有無

♪締め切り 9月15日(火)(8/20から延期になりました)

♪参加者には後日連絡します

♪詳細は前号(158号・p35)をご覧ください